

第84回

手塚治虫作品と ジャパンコーヒーフェスティバル 2025 in 宝塚

開催テーマ 「手塚治虫作品と珈琲」～火の鳥～

日時

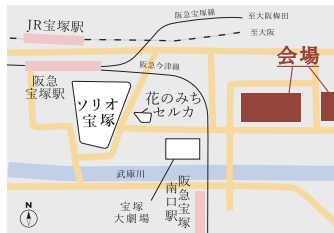
10月31日金
12:00～19:00

11月1日土・2日日・3日月・祝
10:00～19:00
10:00～17:00

会場

※駐車場には限りがあります。公共交通機関
でのご来場にご協力をお願いいたします。

宝塚市立文化芸術センター
(兵庫県宝塚市武庫川町7-64)
宝塚市立手塚治虫記念館
(兵庫県宝塚市武庫川町7-65)
花のみち・さくら橋公園
(兵庫県宝塚市武庫川町6-1)



ジャパンコーヒーフェスティバルについて

—— 一杯のコーヒーから様々なことが見え、そして体験できるフェスティバル

ジャパンコーヒーフェスティバルは、日本国内におけるコーヒー文化の健全な発展と普及を目的に、関西を中心とした全国各地で行っているコーヒーの飲み比べの祭典です。開催地ごとにテーマを設け、そのテーマに合わせたそこでしか飲めない各出店者渾身の一杯をお楽しみいただけます。

日本の地域は、それぞれがとても素晴らしい魅力を持っています。しかしそれらは、ただそこで暮らしているだけでは、ましてや観光で訪れただけではなかなか知りえない魅力も多いのではないかと考えています。当日飲めるコーヒーは、その場所の特性や込められた想い、もしくは歴史や伝統文化などを基に設けた「開催地ごとのテーマ」に基づいて、コーヒー屋独自の角度から表現した渾身の一杯です。そのコーヒーを飲み比べ、偶然居合わせた人たちがコーヒーを介したコミュニケーションを楽しむことで、来られた方が開催地についてより興味を持ったり、魅力を再発見したりしていただくことが開催目的の一つです。

飲み比べを通じてコーヒーの奥深さに触れることで、地域やそれを取り巻く人・環境へと好奇心が広がっていくと考えております。フェスティバルという非日常の中で、自分自身に対しても好奇心を向けてみてください。

『火の鳥』をデザインした今回限定ブックカバーのプレゼントも！

文化芸術センター1Fショップにて手塚治虫作品の書籍を購入いただいた方にプレゼント。数に限りがございます。

飲み比べはコーヒーチケットで
料金



- 運命のコーヒーチケット1枚含む
コーヒーチケット3枚
- 出品コーヒーへの想いが綴られた
特製パンフレット

前売券：1,800円

当日券：2,000円

- * コーヒーチケットとパンフレットは
当日受付にてお渡し
- * 珈琲豆の物販に使えるチケット
(100円)付

追加券：1,200円
(コーヒーチケット3枚)

前売券販売中！

お得な前売券は、出店店舗と宝塚市
国際観光協会(観光にぎわい課内)にて販売！
出店店舗は公式HPやSNSにて発表いたします。

e+・セブンチケットでも販売中

e+ イープラス セブンチケット

¥1,960(システム利用料がかかる場合がございます)



●珈琲一杯あたりは100cc程度です。(飲み比べを主旨としているため) ●コーヒーチケット1～2枚でコーヒー1杯と引き換えです。 ●コーヒー豆・フード・物販の購入は、チケット不要です。 ●コーヒーチケットはイベントの4日間通して有効です。 ●マイカップご持参で、珈琲を1.2倍量お入れします。

お問い合わせ

一般社団法人 日本コーヒーフェスティバル実行委員会

☎ 080-3300-6410

✉ japancoffeefestival@gmail.com

🏠 大阪府大阪市淀川区東三国1-32-22

フェスティバル当日の流れ

1 当日受付 会場内に受付がございます

コーヒーチケット(3枚)と特製パンフをお渡しします
*前売券をお持ちの方も、チケットとの引換えが必要です

➔ 運命のガチャガチャ

*3枚のチケットのうち1枚は、ガチャで引き当てた
店舗で使える「運命のコーヒーチケット」です
*残りの2枚はどの店舗でも使用可能です

2 4枚目以降は追加券で

会場内の追加券販売所でパンフレットを提示すると
追加のコーヒーチケットをお買い求めいただけます
*ご来場2日目以降も追加券の価格で購入できます

／宝塚市国際観光協会SNSフォローキャンペーン／

フォロー&投稿で
オリジナルノベルティをもらえなくプレゼント!!

「#ジャパンコーヒー
フェスティバル2025宝塚」
を付けてご投稿ください！

詳しくは、宝塚市国際観光協会SNSから



参加方法、最新情報は
公式Webサイト

第84回

手塚治虫作品と
ジャパンコーヒーフェスティバル
2025 in 宝塚

2025

10.31金 → 11.3月

31日12:00～19:00 / 1・2日10:00～19:00 / 3日10:00～17:00

Japan Coffee Festival

『火の鳥』を珈琲で表現する



©手塚プロダクション

30の珈琲屋が